

二村名大教授ら受賞

高松宮妃癌（がん）研究基金（和田武雄理事長）は三十日まで、本年度の同基金学術賞に基礎領域で長田重一（大阪大医学部教授（48））と米原伸京都大ウイルス研究所教授（45）、臨床領域で二村雄次名古屋大教授（54）を選んだ。

長田、米原両教授は、細胞死を支配するFas抗原を発見し、その作用の仕組みを解明した。二村教授は肝門部胆管がんの根治手術法の確立に貢献した。